

## アジアのフルーティストの交流で 新たな文化活動を創造する。

アジア・フルート連盟は日中韓のフルーティストによる連盟である。その設立趣意書には「アジア地域におけるフルーティストや愛好者の交流、交歓、相互支援の場として、その水準の向上と互いの友好を深めることを目的とする」とある。

### アジアでもっとも

親しまれている楽器はフルート。

アジア・フルート連盟は2008年4月に設立されたまだ若い団体である。会長を東京藝術大学 教授の金昌国さんが務め、元北京中央音楽院 教授の朱同徳さん、韓国・誠信女子大学 教授の朴恵蘭さん、元武蔵野音楽大学 教授の甲斐道雄さんなど、アジアを代表する音

## 「アジア・フルート連盟創立関連」事業

楽家たちが脇を固める。そして、世界的なフルーティストであるスイスのオーレル・ニコレさんが特別顧問というそうそうたる布陣だ。

「中国で第1回ニコレ記念国際コンクールが行われ、私も審査員として参加しました。優秀な若手が大勢集まりました。中国の方も参加していたのですが、驚くほどレベルアップしていました」と金昌国さんがいう。

フルートの世界では日本は欧米との交流はあっても、アジアとの交流はほとんどなかった。それは他のアジア各国も同様だ。30年前に日本ではフルートブームが起きた。20年前には韓国で、そして今、中国でブームが起きているという。

「今でも日本では、フルートを習っている人がたいへん多いです。中国や韓国でもそのようです。どうも、フルートの音色というのがアジア人の感覚にぴったり来るようですね」（金昌国さん）

共同で演奏会やセミナーなどを日中韓でやろうという



日中韓のフルーティストが競演

話が持ち上がり、今回の連盟発足につながったのである。こうして、フルートという楽器で結ばれたアジアの連盟が発足したのである。

### 日中韓による連盟設立記念コンサートは大成功。

2008年12月6日、7日に東京上野の旧東京音楽学校奏楽堂で、8日には大阪のムラマツ・リサイタルホール新大阪で、アジア・フルート連盟の設立記念コンサートが行われた。日中韓のフルーティストの初の競演である。

予算の都合もあり、時間をかけて練習することはできない。前日と当日の練習だけでコンサートにしあげた。

編曲を担当したのは、連盟の事務局長でNHK交響楽団首席奏者でもある神田寛明さんだ。

「わずかな時間でも合わせられることを前提にしながら、普通はオーケストラでやる楽曲をフルートだけで演奏するという面白い試みも取り入れてみました。また、ソリストも楽章毎に三か国の人が順番に演奏できるような構成

## 助成団体 アジア・フルート連盟

<http://www.aff-japan.net/>

### 担当者より



アジアの音楽文化交流の  
ための確かな一歩に  
なりました。

アジア・フルート連盟  
会長  
金昌国さん

今回の設立記念コンサートは、AJOSCの助成がなければ間違いなくできませんでした。心より感謝申し上げます。今後は私たちも力をつけて、ヨーロッパのように招待者の渡航費を出せるようにしていきたいと考えています。AJOSCの会員の皆様にも、ぜひ機会があればコンサートなどにお立ち寄りいただければ幸いです。

にしています」と神田さんは説明する。

この演奏は素晴らしいものになった。曲の中にそれぞれの想いが溶け込んで、不思議なハーモニーを奏でた。フルートだけのコンチェルトの試みも他では聞けない演奏になった。中国や韓国の出演者たちも非常に感激したようで、日本がリードして開催したことに感謝していた。

最初のイベントの成功を受けて、2009年7月にアジアフルートセミナーを開催する。さらに12月にはソウルで第1回アジアフルートコンGRESSを行い、コンクールも開催する予定になっている。新しい文化活動がどんどん生まれているのだ。

それぞれの国には、それぞれの考え方がある。その違いをお互いに理解するために、文化交流は欠かせないと金さんは語る。

「日中韓で始めましたが、すでに香港や台湾・シンガポールなどからも声がかかっておりますので、他のアジア各国にも仲間に入っていただきたいと考えています」

始まったばかりだが、国ごとの会報を交換するなどイベント以外の交流も盛んになっている。アジアの仲間としての意識も芽生えてきているようだ。アジアのフルーティストの交流から今後どんな音色が生まれてくるのか楽しみである。



旧東京音楽学校 奏楽堂で行われた設立記念コンサート